

結成20周年  
新たな大躍進  
に向け出発!

# 月刊 千葉労働動力

国鉄千葉動力車労働組合  
〒260-0017 千葉市中央区要町2番8号 (動力車会館)  
電話 (鉄電) 千葉 2935・2939 番  
(公) 043 (222) 7207 番  
99.11.29 No.5053

## 千葉機関区支部第4回定期大会開催



**活発な討論で  
強固な方針を**  
—— 的場支部長あいさつ ——

千葉機関区支部は、十一月二〇日、千葉機関区内において、第四回定期大会を開催した。大会は、冬木副支部長の開会あいさつではじまり、目良君を議長に選出し議事が進められた。冒頭、的場支部長は「貨物の基地統廃合の攻撃の中で千葉機関区支部は四回目の大会を開催できた。これから貨物六千人体制攻撃が強まる中で、京葉線移行によるハンドル訓練などの問題が発生するが、活発な討論で強い方針を決めていきたい」とあいさつを行った。

本部からは、中野委員長が代表して「今回の大会で貨物から副委員長をだしてもらった。これからも動労千葉の中心を担って闘ってもらいたい」とあいさつを行った。

役職	氏名	職名
支部長	的場正和	運転士
副	冬木浩明	運転士
書記長	大竹哲治	運転士
副次長	樋口徳治	運転士
執行員	中台政幸	事務係
	山本茂雄	車技
	石川二郎	運転士
	鎌形哲男	運転士
特執	柴崎良夫	運転士
	宮内正志	運転士
会計	山田 魁	運転士
	山倉 一	運転士

**質疑での主な意見**

このあと、執行部から経過報告、会計報告、会計監査報告、運動方針案等が提起され、議事に入り、活発な質疑が行われた。

◆ 年末手当について一年間で三、五カ月といわれているが、どういふ方針で闘うのか

◆ 出向に出ているが、出向期間が終了した段階で帰れるのか

◆ 本部の大会で新会館建設が提起されているが、現在どうなっているのか

◆ 支部と本部からの答弁が行われた後、方針案の採択、九九年度新役員選出の選出を行い、最後に的場支部長の団結ガンパローで大会は成功裡に終了した。

—— 一九九九年新役員体制

## 木更津支部第22回定期大会開催!



**労働者の未来をつくる大会に**  
—— 赤羽根支部長あいさつ ——

十一月二三日、木更津市「大和」において、木更津支部第二十二回定期大会が開催された。大会は、多田副支部長の開会あいさつで始まり、冒頭、新しく本部副委員長に選出された君塚、繁沢両副委員長からのあいさつをうけ、佐野君を議長に選出して議事が進められた。

赤羽根支部長からは「二度のストライキ、選挙闘争、十一・七労働者集会を支部組合員が先頭になって闘いぬいてきた。今大会を、労働者の未来をつくるべくいく大会にしよう」と力強いあいさつが行われた。

本部を代表して田中書記長からは、「結成二〇周年で色々な闘いをやり、これからの動労千葉の基礎をつくる一年だった。動労千葉の団結を守りぬき、こ

役職	氏名	職名
支部長	赤羽根宣男	車技
副	妹川 敏明	車技
書記長	大塚 明	車技
執行員	多田 勝美	事務係
	多田 敬治	車技
	鈴木 嘉夫	車技
	鈴木 敏夫	車技
	佐野 正幸	車技
特執	若林 大徹	車技
会計	岡田 大徹	車技

**質疑での主な意見**

「これからの動労千葉を創りあげよう!」

◆ 強制配転—予科生問題について、どのようになっているのか。

◆ 運転士、検修職の要員について、今後の展望は。

◆ 旅行会や葬儀でのお返しを取り扱いをどのようにするのか。

◆ 会館建設の問題はどのように進んでいるのか。

◆ 気動車の配置総数が削減されたが、今後どのようにするのか。

本部からの答弁を受けたのち、全ての議案を全員の拍手で確認し、新役員選出の後、赤羽根支部長の団結ガンパロー三唱で大会は成功裡に終了した。

—— 一九九九年新役員体制